

めざせ! 南十字星

笑顔があふれ,しあわせを感じられる学校

学 校 便 り

令和4年11月国際交流特集号 ヨハネスブルグ日本人学校

国際交流、国際理解教育を続けて実施

「グリーンサイド小学校(第4回)」 「JICA 青年海外協力隊(第5回)」



コロナ禍の影響で、校外学習の予定通りの実施もままならなかった昨年度で した。今年度、計画した国際交流を4回目、5回目と順調に進めることができ ています。

国際理解教育及び現地理解教育を通して、「グローバルな視点に立つ資質を兼ね備え、日本の自然、社会、歴史、文化を通して、日本人としてのアイデンティティーを確立し、子供たちが将来自分の目指す職業や社会で活躍できる」ことをねらいとしています。今後も、子供たちにとって、貴重な機会となるよう計画し、進めていきます。

「グリーンサイド小学校(第4回)」との国際交流

10月21日には、JSJから車で10分ほどの場所にあるグリーンサイド小学校(Greenside Primary school)と国際交流を行いました。開会式では、ほぼ全校の児童が一堂にホールに集まっている中、JSJの代表児童が挨拶した後、全員で「さんぽ」の歌を披露しました。

その後、それぞれ同学年か学齢が近い学級に入り、一人ずつ2時間の授業を受けました。大勢を前にしたスピーチや英語の授業を一人で受けることに緊張もあるのではと心配しましたが、堂々としたスピーチ、英語での授業の参加等、動じずに子供たち全員が活躍していました。

英語や「ECの時間」で「英会話力」の習熟を図っており、英語でのコミュニケーションに自信を深めることができた子供たちも多くいました。日本に対して興味をもっているグリーンサイドの子供たちも多く、スナックタイムでは、漫画やアニメなどの会話も弾んでいました。

閉会式では、「ヨハネスソーラン」を披露し、お返しに 「パタパタダンス」の踊りを頂きました。

また、大変ありがたいことに、校長先生自ら、附属の幼稚園を始め全ての教室を案内していただきました。国際交流のもつ意義と同時に、子供たちにとって忘れることができない貴重な経験となっていることを実感しました。次年度もお互いに交流が続けられることを願うところです。









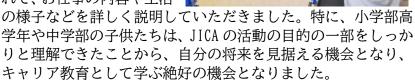




「JICA 青年海外協力隊 (第5回)」との国際理解教育

11月21日に、3名の JICA 青年海外協力隊の方々を学校にお招きしました。世界には、国際貢献の面で活躍されている多くの人々がおり、JICA 青年海外協力隊の立場で、ヨハネスブルグから離れた場所で活動されている3名の方々に、JSJ までお越しいただきました。ムプマランガ州の科学センターで活躍されている井上隊員、PCのICTスキル向上のためのトレーニングを指導されている桑子隊員、ロボットのプログラムミングを教えていらっしゃる山本

を教えていらっしゃる山本 隊員から、グループに分か れて、お仕事の内容や生活



休み時間には、校庭で鬼ごっこによる触れ合い活動も大いに 盛り上がりました。閉会式では、ヨハネスソーランの披露のあ と、笑顔いっぱいの記念撮影を行いました。

